

平成二十八年安中市議会第一回定例会は、二月二十九日から三月十八日までの十九日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の制定など六十二件、平成二十八年度予算関係が九件、あわせて七十一件が提出され、議員提出議案として条例の一部改正一件、意見書案一件が提出されました。

### 定例会のあらまし

- ◇29日＝本会議 会期の決定、議案六十二件を上程(内二十一件を即決) 議案を各委員会に付託。
- ◇2日＝本会議 施政方針、平成二十八年度予算関係九議案を上程。予算審査特別委員会を設置、同委員会に付託。
- ◇4・7日＝予算審査特別委員会
- ◇9日＝総務文教常任委員会
- ◇10日＝福祉民生常任委員会
- ◇14日＝経済建設常任委員会
- ◇15・16日＝本会議 一般質問
- ◇18日＝本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案五十件を原案可決。議員提出議案二件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、3月15日と16日に行われ、14名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

**議会を傍聴しましょう!**

次の定例市議会は、6月10日～6月22日までの予定です。



合併後十年の総括・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」・教師の体罰事件の教訓について

- 市民の一体感の醸成について**
- 問** 市長の市議時代は、合併に対する考え方はどうだったか。
- 答** 議論が高まっておらず、時期尚早と思っていました。
- 問** 今後の心構えはどうか。
- 答** 市民との協働を大事にしていきたいと考えます。
- まち・ひと・しごと創生総合戦略について**
- 問** 合計特殊出生率が低いことの原因と回復に向けての考え方は。
- 答** 平成二十六年で、一・三〇、県平均は一・四四、周辺に比べ未婚率が高い、晩婚化で少子化出生率の向上に向けた取り組みが喫緊の課題です。
- 問** 産婦人科もない市では難しいが、未婚率の高い問題は。
- 答** 経済的不安、若い女性の市外への転出が多いことなど、婚活の支援など取り組みます。
- 教師の体罰事件について**
- 問** 教師の仕事は過重労働、長時間勤務などゆとりのない学校環境が、背景にあるのではないか。
- 答** OECDで平均仕事時間、週三十八時間、日本週五十四時間です。多忙化の解消が課題です。
- 市民の信頼回復について**
- 問** これをどのように教訓として生かしていくのか。
- 答** 事案の課題を検証し、全ての学校に対して教訓とします。
- 問** 「いじめを隠さない」などの宣言を出してはどうか。
- 答** 検討していきます。



合併10周年記念講演